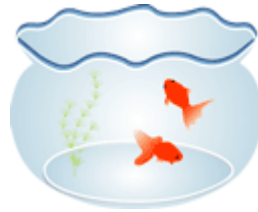


たより



平成26年度夏季教職員研修講座

【寺本 潔先生を迎えて (玉川大学 教授)】

★寺本先生の社会科師範授業

★講演会「言語力を伸ばす社会科授業の作り方」

7月31日(木)寺本先生をお迎えし、社会科(歴史)の師範授業をしていただきました。授業に参加してもらったのは、小俣小学校6年B組の子どもたちです。

「文明開化」のところで、挿絵を見ながら東京の街が、たった8年で近代的に変わったのはなぜか考えました。子どもたちは、今までに学んだ知識を活用して言葉をつなぎながら、当時の日本人が「外国と対等な立場である」と見てもらいたい」

「自分たちも変わりたい」という願いを持っていたという答えを導き出していました。



講演会より (大切な言葉)

・歴史はなりきること、その時代に入りきること(確実に意味認識をする)

・板書は児童の思考の作戦基地

①資料を丁寧に読み取って事実確認する。

②なぜ?…どうして?…(疑問を持つ)

③たぶん……と子どもは答える(予想)



※明治時代は日本人が待ち望んでいたもの。日本人が積極的に変わろうとしていった新しい時代

アンケートより(抜粋)

- ・ 子どもが引きつけられるような導入の仕方を学ばせて頂きました。子どもたちは、「今日何をするんだろう」という意欲が高まり、傘が授業につながっていくのも楽しみに見させて頂きました。考えを広げてつないでいく、それが言語力の向上につながっていくのだと感じさせてもらいました。教師は少しの手助けを意識して喋り過ぎないように、授業展開をしていきたいと思います。図解型板書を9月から実践してみます。
- ・ 子どもたちへの声かけがとてもソフトで、子どもたちがスッと授業に入っていたと思います。錦絵1つで、①発見②疑問③予想で授業ができるのを目の当たりにして、自分でもやってみたいと考えました。低中学年から、もっと地域の「しげん」を探す必要があるなと思いました。それは、子どもだけでなく保護者や地域の人々を巻き込んですることで、地域との関わりがより深くなると思います。
- ・ たいへんよかったです。社会科学習のおもしろさを再発見しました。三重県の良さも前から感じていましたが、一層誇りを持てるように感じました。子どもが興味を持てるように傘を持っていただき、とてもよかったです。教師が役者になることの大切さも学びました。ありがとうございました。
 - ※ 頂いた白地図・日本地図の三重県のところに、奈良県が普段見る地図より大きく出てきているのが気になりました。
- ・ 長い勤務年数を持つ身ですが、恥ずかしい話、初めて社会科の講座を受けました。斬新な、これからの社会科のあり方を具体的な例を掲げて話されたのでよく分かり、まさに目からうろこの状態でした。最後の三重県の産物探しは、自分の無知を知らされ、楽しかったです。ありがとうございました。
- ・ つい、講義型の授業になってしまいがちですが、今日先生がされたような授業だと、とても楽しく学べるのだと思います。各学年の授業のポイントなど、とても楽しくわかりやすかったです。教材研究につきることが分かりました。
- ・ 社会科の授業づくりの様々な視点を教えてもらったように思います。特に、6年生の歴史を進める上で、事実から疑問を作り、予想を立てるという流し方で、子どもたちが“自分ごと”として考えていくことの大切さを感じました。是非、2学期に実践したいと思います。

地震体操(もしもし かめよ)

もしも じしんが おきたなら まずは あたまを まもりましょう

りょうてで あたまを かかえこみ つくえのしたに もぐりましょう

